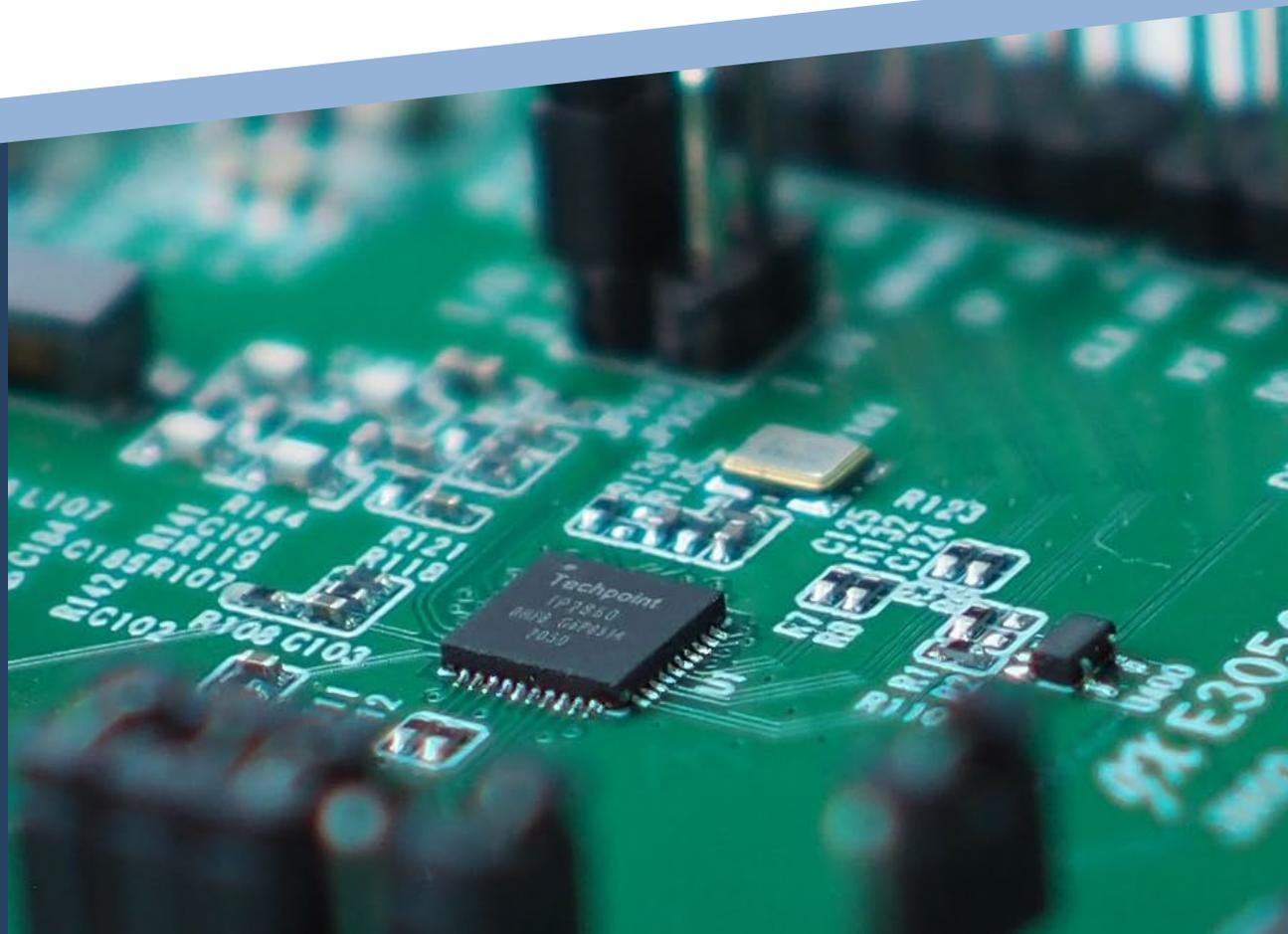


Techpoint

テックポイント・インク

2023年12月期 決算ハイライト

証券コード: 6697
東証外国株グロース
2024年2月





本日のアジェンダ

I 2023年12月期 決算の概要

II 2024年12月期 業績予想の概要

III 収益の還元について





I 2023年12月期 決算の概要

(注) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。

本資料において円で表示している業績数値は、
便宜上 1米ドル=141.83円で換算された金額です。





半導体関連市場の在庫調整局面の中、車載向けが好調、売上高は前期比0.9%増、Non-GAAP当期純利益0.6%減にて着地

1. 世界全体の半導体需要は、ほとんどの市場セグメントで在庫調整が行われていたため、2023年度は低調に推移。

半導体を使用する電子機器メーカーにおいて製品在庫・部品在庫の過剰が課題。部品の追加調達を抑えたため、部品メーカーの販売は低調となった。

当社は車載向け分野の比較的早い回復と販売先の拡大により増収を確保。

- ・ 売上高は前年比**0.9%増**の65,645千米ドル（9,310 百万円）、
- ・ 売上総利益は前年比**3.6%減**の34,618千米ドル（4,909百万円）、
売上総利益率は、販売製品構成比の変化により、52.7%と前年比で**2.4ポイントの低下**
- ・ 営業利益は、前年比 **6.8%減**の18.0百万米ドル(2,556百万円)
- ・ 純利益は、前年比 **0.8%増**の17.8百万米ドル (2,525百万円)

2. **Non-GAAP指標の純利益**は前年比**0.6%減**の 19.2百万米ドル (2,736百万円)





3. 製品市場別

○車載カメラ向け半導体

前年比 **15.9%の増収** : 45.2百万米ドル (6,406百万円) の売上

- ・新規取引先、新機種での採用の努力が奏功し、全体的に縮小した市場の中で増収を達成

○監視カメラ向け半導体

前年比 **21.5%の減収** : 20.4百万米ドル (2,904百万円) の売上

- ・製品の監視カメラのユーザー需要に回復は見られるが、カメラメーカーの部品在庫はいまだ高水準、部品の追加調達が以前の水準に戻るには2024年いっぱいまで長引く可能性

○当社売上高に占める車載半導体比率は**68.8%**と前年比約9ポイントの上昇

○地域別では、中国車載機器生産の成長により中国が増加

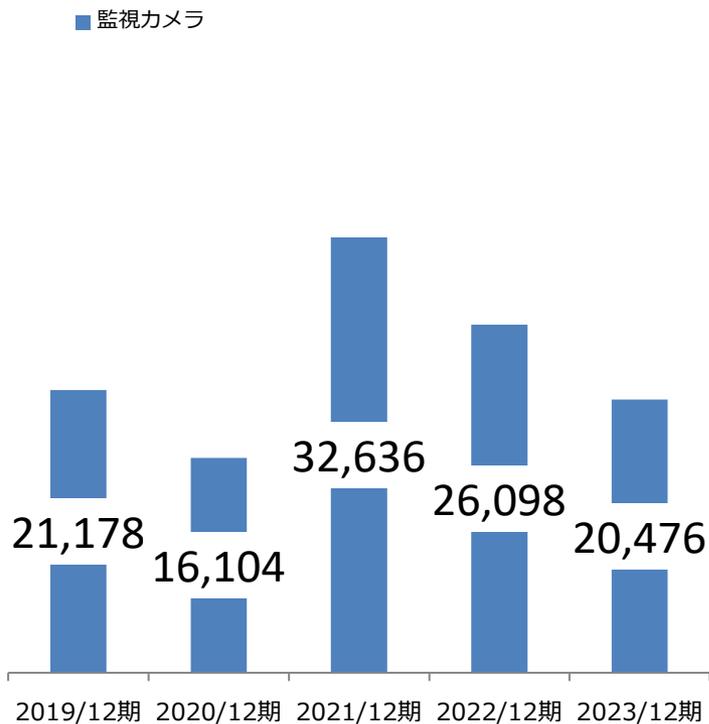




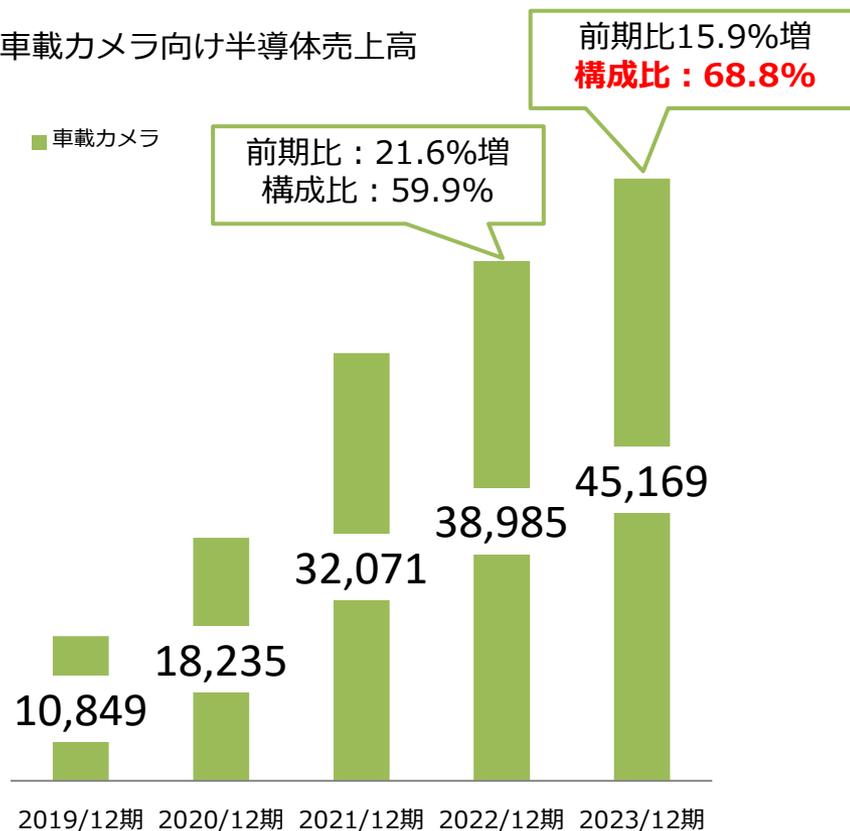
監視カメラ向け半導体は、販売先の部品需要減の影響を受け減収
 車載カメラ向け半導体は、プロダクトミックスによる平均販売価格は低下も出荷数増加により増収、構成比は68.8%に上昇

単位：千米ドル

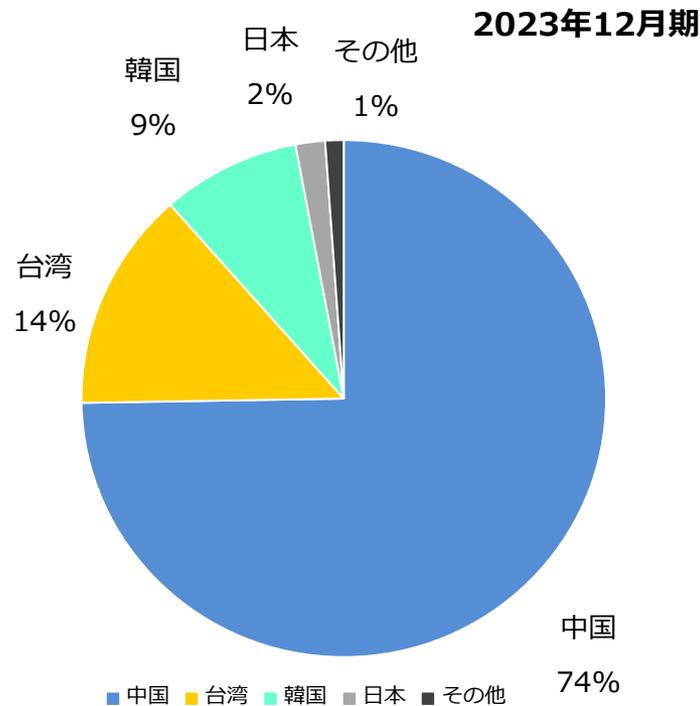
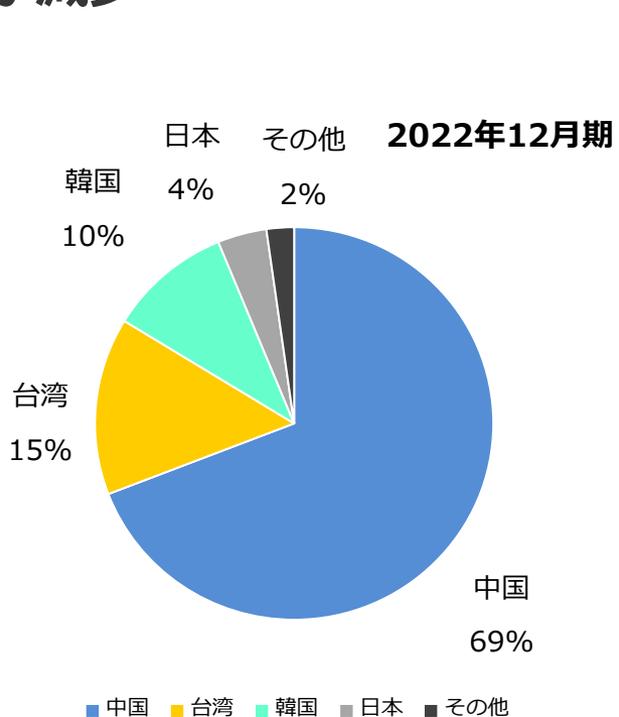
監視カメラ向け半導体売上高



車載カメラ向け半導体売上高



地域別売上比率は、中国車載機器生産の成長により中国が増加、日本が減少



当社半導体の販売先は車載カメラ・防犯カメラ機器のメーカー工場。

生産された、カーナビ・防犯カメラ等の電子機器のユーザーは世界中に分散。売上の3/4を占める中国だが、消費地としては1/4程度の比重、逆に、車載機器の消費が多い日本は15%程度の比重。

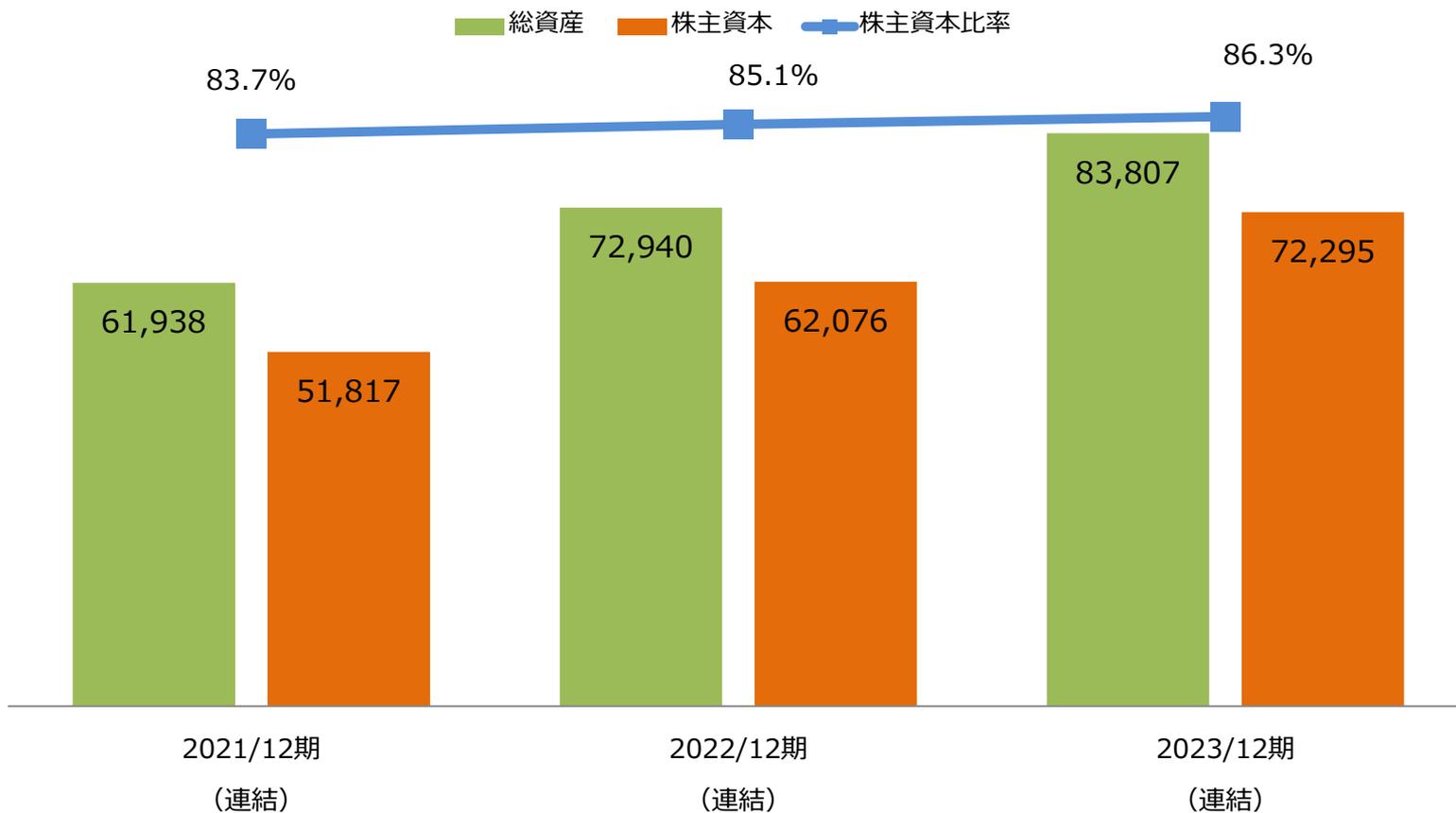
その他、東南アジア・インド・欧州・中近東・中南米・北米などで使われている。

注：完成品の消費地分析は、取引先情報を元にした当社調査



強固な財務基盤を維持、2023/12期の株主資本比率は86.3%
- 無借金、ほぼすべての販売代金は前金制

単位：千米ドル





Ⅱ 2024年12月期 業績予想の概要

(注) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。

本資料において円で表示している業績数値は、
便宜上 1米ドル=141.83円で換算された金額です。





世界半導体の在庫調整継続（除くAI関連）の影響を受け、半導体市場全般は横這いか微増となる予想の中、当社売上高は10.0%増を予想。

今後の成長に向けた積極的な開発投資を計画、利益面は若干の減益を予想

1. 通期**売上高**は、前期比10.0%増の72.2百万米ドル（10,241 百万円）を予想
2. 積極的なテープアウト計画、IPライセンス関連費用を見込み、**研究開発費**は前期比3.1百万ドル増（43.0%増）の10,266百万米ドルを計画、過去最大規模になる見通し
3. 大幅増のR&D負担後の通期**営業利益**は、前期比3.9%減の17.3百万米ドル（2,457 百万円）を予想
4. 通期**当期純利益**は、前期比3.4%減の17.2百万米ドル（2,439 百万円）を予想
5. Non-GAAP当期純利益は、2.9%減の18.6百万米ドル（2,641百万円）を予想
6. 1株当たり当期純利益は94セント（133円）を予想
7. 1株当たりNon-GAAP当期純利益は1ドル2セント（145円）を予想

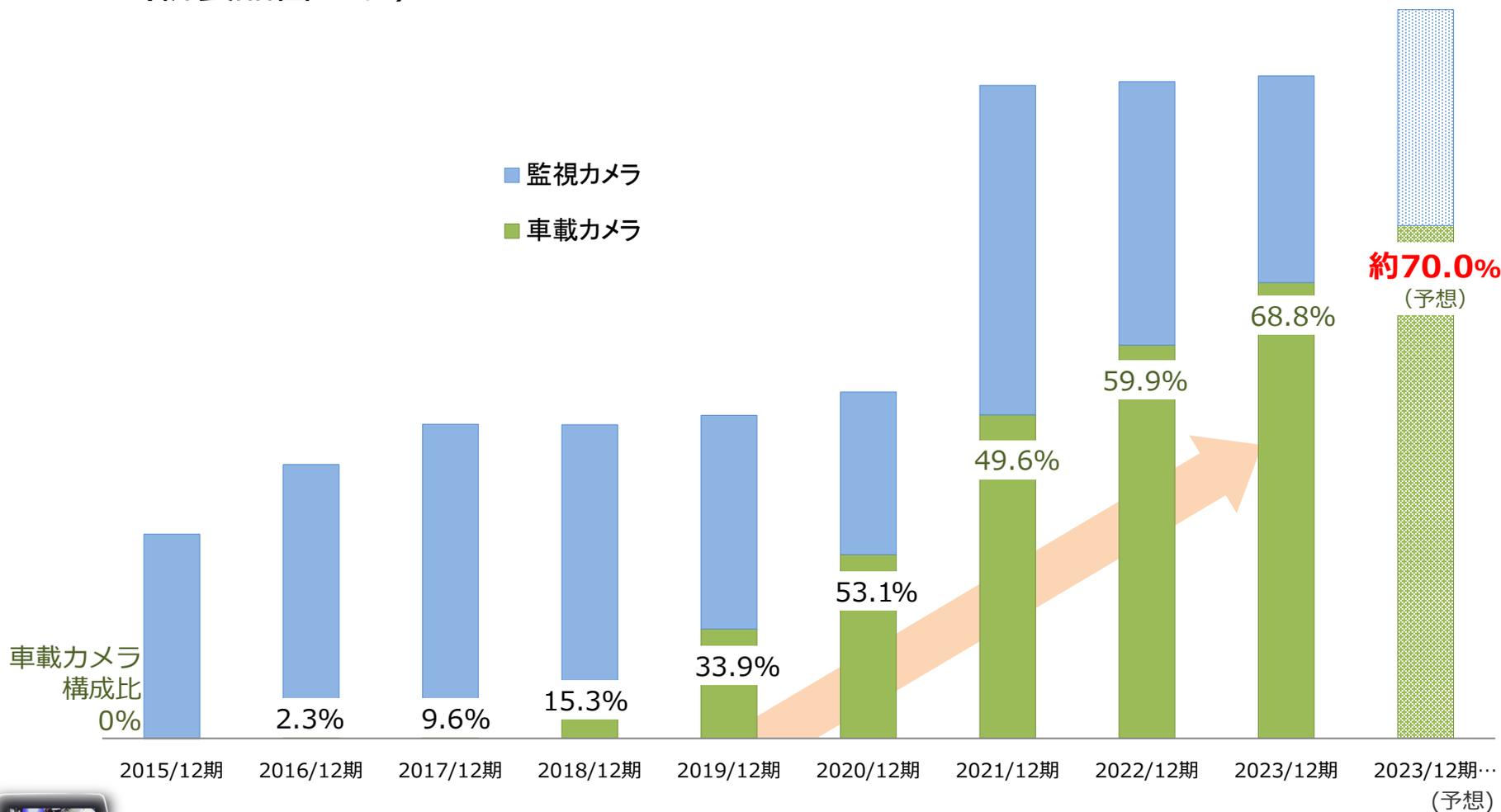
* 当社は配当性向を約50%とする方針を公表しておりNon-GAAP純利益をもとに計算します





車載カメラ向け半導体の比率は増加トレンドで推移

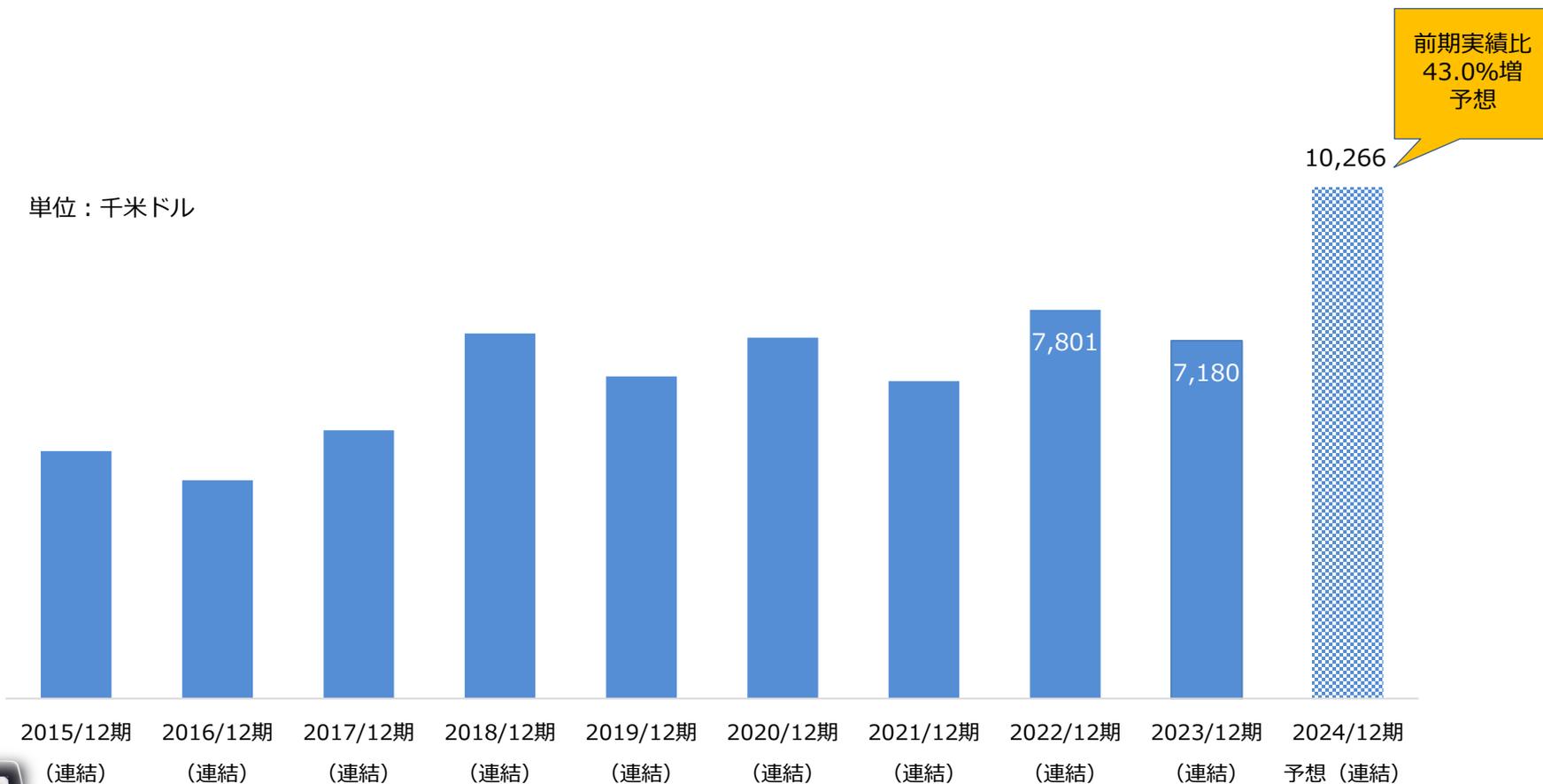
2024/12期は、2023/12期を上回る構成比約70%を予想 (新製品含めず)





2024/12期の研究開発費は、積極的な新製品試作（テープアウト）を計画、また、知的財産ライセンス関連費用の増加を見込み、前期比3.1百万ドル増（43.0%増）の10百万ドルを計画、過去最大規模になる見通し

単位：千米ドル





2024年度以降の成長エンジンとなり得る戦略商品 他社への競争優位をさらに大きくする狙い



ISP (+Tx) のノードの微細化 ⇒ 設計中・生産委託先との相談中
2024年後半から収益寄与の予定



<車載>画像AIを含む一連の機能を備えたSoCの開発 ⇒ 開発中



CMOSイメージセンサー ⇒ ドル高による価格競争力不利のため積極的な販売促進を保留。ドル高対応のためノード微細化・アジア通貨取引によるコストダウンに取組み中
800万画素の4Kカメラ向け



車載用の新しいTVI規格 ⇒ ノイズ耐性を向上させる改良規格を開発中



ドアフォン用の半導体製品 ⇒ 2023年第4四半期から量産を開始済み
ハイビジョン対応品



双方向音声対応のISP+Tx・Rx用半導体製品 ⇒ 量産中



液晶ディスプレイコントローラー ⇒ 量産出荷中/追加新製品開発中





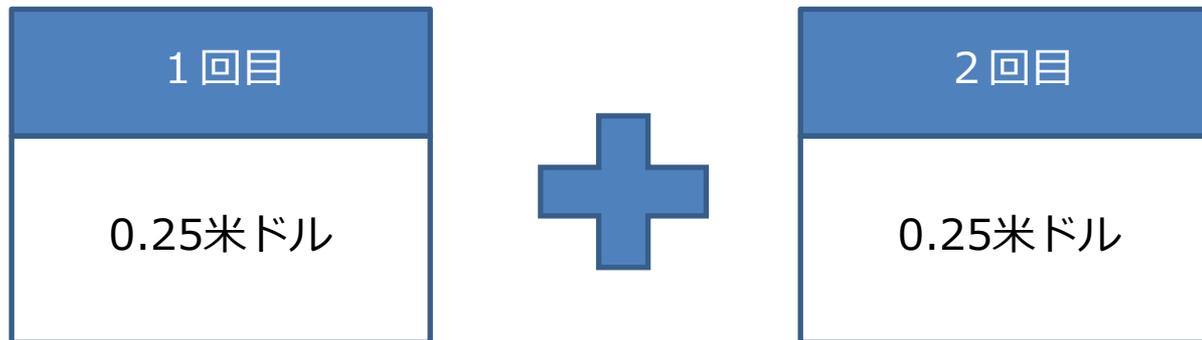
Ⅲ 収益の還元について





方針：NON-GAAP純利益※の約50%の配当性向を目処に配当を実施

2024年の支払いは、2023年12月期着地見込みに基づき年額50セント（25セント+25セント）を決定したものの



1回目の支払いは2024年1月31日を基準日として普通株式株主への支払いを通じてJDR受益者に分配を実施予定（2024年3月28日）

2回目の支払開始日等詳細は、確定次第開示予定（基準日は2024年度2Q期間中の開示を予定）

※ **2024年12月期NON-GAAP一株当たり純利益は1.02米ドルを予想**

（ご参考）
2023年支払い実績

| 2023年の支払 | 普通株配当金 | JDR分配金(源泉税等調整後) | | | |
|----------|--------|-----------------|-----|-----|-----|
| | | 米国所得税率区分 | | | |
| | | 0% | 10% | 15% | 30% |
| 1回目 | 25セント | 33円 | 29円 | 28円 | 23円 |
| 2回目 | 25セント | 34円 | 31円 | 29円 | 24円 |
| 1回目+2回目 | 50セント | 67円 | 60円 | 57円 | 47円 |

